

ロシア 東欧 経済速報

〒100 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551) 6215~9
ロシア東欧貿易会 ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月—1,500円 1年—18,000円]

1997年(平成9年)11月5日 No. 1073

目次

「第20回日ロ経済専門家会議」代表団報告会	1
キーパーソン	9
ケメロヴォ州知事選でトゥレーエフ氏が圧勝 / 9	
統計速報	9
データフラッシュ / 9	
ホームページ拝見(8) ロシア取引システム (RTS)	10
C I S 諸国通貨の最新為替レート	10

「第20回日ロ経済専門家会議」代表団報告会

はじめに

当会は9月30日から10月19日にかけて、日ロ経済専門家会議代表団をモスクワ、ニジニノヴァゴロド、ノヴォロシースク、クラスノダール(以上ロシア)、ミンスク(ベラルーシ)、ベルリン、ケルン(ドイツ)、そしてプラハ(チェコ)に派遣した。ここでは、10月28日に東京証券会館において開催された、金森団長および小川副団長による同会議の帰国報告会の模様を紹介する。

1. 回復のレールに乗ったロシア経済

団長 金森久雄
(社) 日本経済研究センター顧問
(社) ロシア東欧貿易会顧問

悲観論・慎重論・楽観論 私は20回を数えた日ロ経済専門家会議のうち14回に参加し、その間、いわば定点観測によって変化を見てきた。最近のロシア経済情勢は、統計からみるとかなり落ちついてきたといえる。1997年1~6月の国内総生産(GDP)はほとんど前年並み、鉱工業生産は1991年以来ずっと落ちていたのがわずかながら上昇に転じてきた。1992年に25倍も上がり、その後もかなり高かったインフレも急速に収まり、1997年1~6月は8.6%と鎮静化した。

これをロシアのエコノミストはどのようにみているか。彼らの間でも意見が分かれている。悲観論者の代表はわれわれのカウンターパートである対外経済関係省付属景気研究所のオレー